

これならわかる  経済の仕組み 第17回

2013年6月20日

全2頁

貿易の役割—国際分業

常務執行役員
岡野 進



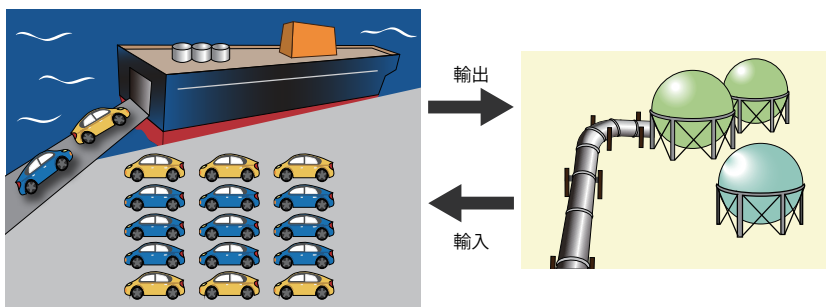
2012年度の貿易収支が赤字になったというニュースがありました。日本が赤字になるというのは、日本にとって良くないということなののでしょうか？企業の利益や家計簿が赤字になるのは問題ですが、貿易収支が赤字になるというのはそれらで使う赤字というのとは少し違う意味合いがあります。そうしたところから貿易の役割を考えていきましょう。

「貿易収支」というのは、輸出、つまり外国にモノやサービスを買った額から、輸入、つまり外国からモノやサービスを買った額を差し引いた収支を指します。確かに今の日本にとっては赤字というのは良いニュースとはいえません。しかし、貿易収支というのは世界中を合計してみれば必ずゼロになるものです。ですから、日本の貿易収支を見て、赤字だとか黒字だとかいうのは、企業の利益が赤字になったり、家計簿が赤字になったりするということとは、意味が違います。「赤字」と表現しますが、貿易で損をしているという意味ではないのです。貿易赤字というのは輸入が輸出を上回っているということの意味しているだけです。反対に貿易黒字は輸出が輸入を上回っているということの意味します。

もちろん、輸出の方が輸入より多いと、受け取る輸出代金が輸入代金を上回るので、その差額分を他に使うことができます。しかし、これは利益をあげている＝儲かっているということとは必ずしも一致しないのです。利益を得るといえるのはコスト（何かを作るのにかけた費用）に比べて売上が大きい場合です。貿易収支が黒字でも、輸出品を作るコストが高すぎて、輸出企業は少しも儲からないという場合もあります。国民全体の所得で考えてみても、その場合には、儲かっている、ということにはなりません。どちらかという貿易収支は長い期間でだいたいゼロに保っていれば、お互いに関係するだけ貿易に参加している国の経済がお互いの経済を助け合っているということになります。

そもそも、なぜ貿易をするのでしょうか？たとえば、今の日本は自動車などの輸出がさかんです。一方で日本にはエネルギー資源が乏しいので、原油などの天然資源を輸入しなければなりません。また中国などの新興国からは廉価な軽工業品を輸入しています。自分の国の得意な分野、つまり効率よく生産できるものをお互いに輸出し合えば、全体として利益になるのです。このとき、貿易参加国の貿易収支がゼロ、つまり輸出と輸入が同じ額になっていても、自国では得られないものを適切なコストで得ることができるという意味で、両方とも得することになるのです。すなわち、分業が外国との間で行われるということ。貿易というのは国際分業の手段と言い換えてもよいでしょう。

さて、実際に貿易が行われるには、輸送が必要になります。貿易に適するものとそうでないものがありそうです。すでに建っているビルなどの建築物そのものなどというのは、貿易の対象にはならないでしょう。しかし、重くて大きいものが必ずしも貿易の対象にならないということではありません。鉄鋼はかなり重要な貿易品ですし、船の場合ならば、完成した船自体を使って輸出できます。輸送費込みで相手国よりコストが安くできるものはだいたい輸出の対象になると考えてよいでしょう。輸送費が非常に高くて、輸出先に持っていかなくても、その国の国産品より高くなったり、近隣の国から輸入したりした方が安いというのはその国への輸出は難しくなります。



モノだけではなく、サービスも貿易の対象になります。具体的に言うと、大きく①輸送②旅行③その他に分かれています。①輸送というのは、たとえば日本からモノを輸出するとき外国船籍の船を使えば、輸送を輸入したことになります。逆に、外国人が日本の飛行機に乗れば輸出となるわけです。②旅行というのは、たとえば日本人が外国に行ってホテルに泊まったりレストランで食事をしたりすると輸入ということになるのです。③その他には種々のサービス提供が含まれますが、通信、建設、保険、金融、情報、特許権使用料、文化興行などといった分類ができます。たとえば建設なら、ビルそのものは輸出できませんが、現地に行って建設にたずさわれば輸出になるのです。文化興行の輸出は、外国に行って演劇や音楽コンサートを行って出演料をもらったりすることを指しています。特許権使用料は外国に特許を利用して使用料を受け取ることで、これも輸出と数えられます。

それでは、たとえば外国の銀行に預金したら、その預金は金融サービスの輸出になるのでしょうか？このような純粋な金融取引は貿易とはみなされません。外国の銀行に預金したり外国の証券を買ったりすること自体は、利子や配当を受け取るための投資なので、貿易ではなく外国への投資ということになるのです。しかし、銀行の行うサービスの中で、手数料を取るサービスを外国人に提供する、たとえば、送金手数料や証券の売買手数料などは金融サービスの輸出になります。

(以上)